

# 環境のひろば

210号

発行者 / 岡山県環境衛生協会  
会長 小山 亮

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを  
きれいに  
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいに  
する運動”を推進するために  
配布しております。



高梁  
支部

## 川から海へ

高梁市環境衛生協議会

10月の「高梁市民環境月間」にあわせ、10月29日(土)に高梁川河川敷で「高梁川流域クリーン作戦」を実施しました。

高梁川流域の美しい自然を後世に残していくこと、また、市民の環境美化に対する意識高揚を図ることを目的に例年開催しているもので、今回は昨年を上回る345名が参加されました。

一見きれいに見える河川敷も実際に降りてみる

と、ビニール袋や空き缶などが散乱しており、回収したごみは430kgにもなりました。

高梁川から流れ出たごみは、やがて瀬戸内海に流れ込み「海ごみ」となってしまいます。「海ごみ」は、人や生物、産業などに多くの被害を発生させ、またプラスチックは紫外線などの影響を受け、細かい破片になり、回収することが困難になると聞きます。

川を清掃することは、海ごみをなくす第一歩と考えるとともに、できるだけごみを出さない生活を心がけるよう、今後とも啓発活動等に努めていきます。

## 支部だより

岡山市  
支部「第15回おかやまりサイクル  
工作コンクール」について

岡山市環境衛生連合協議会

当協議会では、小学生の夏休みの宿題を活用して「おかやまりサイクル工作コンクール」を毎年開催しております。

これは、身の回りの不用品を利用した工作を通じて、子どもたちのものを大切にする心と新たにものを創り出す心を培い、環境を大切にする意識を高めるために実施するもので、今年度で15回目を迎えました。

提出作品数は平成26年度3,605件、平成27年度3,924件、平成28年度4,574件と年々増加しており、うれしい悲鳴を上げております。

本年度も優秀作品48点を選出し、12月8日(木)、9日(金)に岡山市役所1F市民ホールにて展示を行いました。市役所を訪れた多くの市民の方々が児童の作品に見入っていました。

また、優秀作品に選ばれた児童が、作品と一緒に記念写真を撮影していました。

今年度は「地球環境問題ポスターコンクール作品展」も同時に開催することにより、身近にある環境問題を考えるきっかけになったのではないかと思います。

## 今年度の展示の様子

(岡山市役所1F市民ホール)

勝英  
支部

## 不法投棄禁止看板の設置

勝央町環境衛生協議会

勝央町では、毎年7月と12月に、町内全域で町民による地域や道路の草刈り、ポイ捨てされたごみの清掃、不法投棄ごみの回収を行っております。

しかしながら、心無い不法投棄が後を絶ちません。

そこで、当協議会では不法投棄禁止看板を町内全域に設置する運動を展開し、不法投棄防止に関する普及啓発活動を行っております。

不法投棄禁止看板は、当協議会事務局員が町内で不法投棄監視パトロールを行い、不法投棄が多発している箇所を選定して設置するほか、地域住民からの情報提供による設置や、地域住民の方に看板を提供して設置していただくなどしています。この活動により、看板を設置した箇所は以前より不法投棄が

少なくなったように思います。

また、不法投棄を行っている方へ「ここは、我々の目が届いているぞ」という抑止効果にもつながっていると確信しております。

当協議会は、これからも不法投棄の抑止に向けて、こういった普及啓発活動を継続していきたいと思っております。



倉敷  
支部

## 出張！出前スクール！！

総社市環境衛生推進協議会

総社市では、市内にある全15校の小学校の児童にごみの分別やパッカー車のことを知ってもらうために出前スクールを行っています。平成28年度には、14校にて出前スクールを実施しました。

出前スクールでは、パッカー車の実演とごみ分別クイズを行います。

パッカー車の実演では、パッカー車を間近で観察し中がどうなっているのか、また実際にごみを投入してもらい、その後パッカー車がどのように動くのか体験してもらいます。普段遠目で見るとパッカー車を目の前にし、テンションを上げる児童も大勢います。

また、ごみ分別クイズでは、児童にビン、缶、

ペットボトル、雑誌等を渡し、それぞれのコンテナに分別してもらったり、分別されたごみが何にリサイクルされているのかを、質問を交えつつ学んでもらいます。

出前スクールが子どもたちに日頃出しているごみについて関心を持ってもらうきっかけになればと思います。今後も活動を継続していきます。

真庭  
支部自然豊かな蒜山を  
守り続けるため

真庭市蒜山地区環境衛生協議会

真庭市蒜山地域は、昔より多くの方々を訪れる観光地です。当協議会は年1回、環境美化を目的として、地区内各自治会において水路の清掃とごみ拾いを行っており、長年、地区の環境美化に努めています。

しかし、蒜山地域にも全国的に問題となっている不法投棄ごみが毎年、人目のつかない場所へ捨てられています。大部分は他の地域でも見られる冷蔵庫、テレビ、タイヤなど処分方法が難しい物が大半である中、特に最近では、道具が揃えやすく気軽に楽しめるようになったからなのか、観光客が捨てていったと思われるバーベキュー後のごみの不法投棄事案が発生しています。袋の中身を確認すると、分別されないままの飲み物の缶、調味料のビン、食材の残り、焼き網、ビニールシート、炭などがまとめて入っています。

一部の人達の心無い行為により、そこに住んでいる地域住民は大変な迷惑を被っています。発見が遅

くなれば、動物が袋を荒らし、周りにごみが散乱している場合もあります。また、発見が早く、袋が無事であったとしても袋の中は分別されていないごみが入っているので、分別作業にも時間がかかり一苦労です。この場合、観光客であれば当事者の特定はさすがに難しく、現段階では、蒜山を訪れる方々の良心に訴えていく以外方法がありません。

今後、何らかの対策を検討および実施し、ごみのない蒜山地域を目指してこれからも協議会と地域住民で環境美化に取り組み、蒜山地域を訪れる観光客の方々をお迎えしたいと思います。



循環と共生

『家庭の省エネ』

高梁市環境衛生協議会

12月2日(金)に開催された環境衛生民間指導者研修会(備中ブロック)において、岡山県地球温暖化防止活動員 土井伸一郎先生(電一郎先生)から教わりました家庭でできる省エネ方法を紹介します。

【テレビ】

- ・見ていないときはこまめに消す
- ・必要以上に画面を明るくしない、音を大きくしない



【冷蔵庫】

- ・ドアの開閉は少なく手早く
- ・食品の詰め込みすぎは禁物



【エアコン】

- ・室内温度を冬は 20℃以下、夏は 28℃以上 ※ただし、熱中症の予防が一番
- ・2週間に1度はフィルターのそうじ
- ・室外機の吹出口に物を置かない



家電製品の省エネ方法を実施するとともに、省エネ家電製品を選ぶことも重要です。

また、使用頻度が少ない家電は使うときだけコンセントを差すことで待機電力を抑えることができます。

一人ひとりの省エネが、やがては大きな省エネとなり、それはCO<sub>2</sub>の削減、そして地球温暖化防止につながります。

『単独処理浄化槽』から『合併処理浄化槽』へ転換しましょう

「単独処理浄化槽」をお使いの皆さまは、水環境保全のためにも「合併処理浄化槽」への転換に努めましょう！！

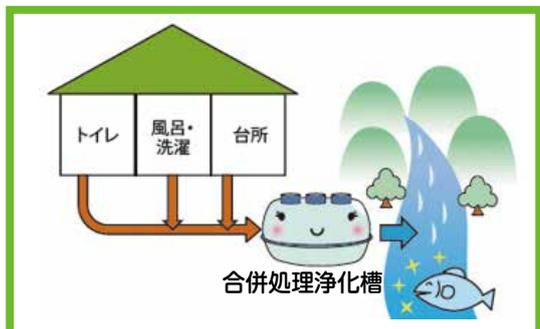
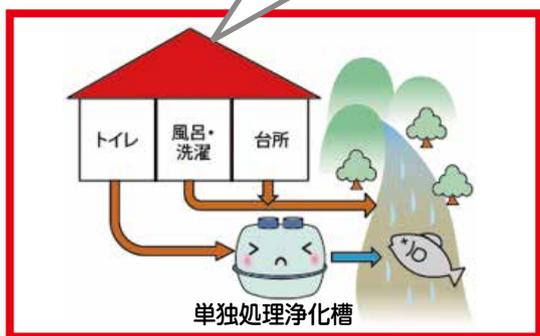
岡山県循環型社会推進課

浄化槽には、トイレの排水だけを処理する「単独処理浄化槽」と、台所や風呂、洗濯排水等の生活雑排水を一緒に処理する「合併処理浄化槽」があります。

「単独処理浄化槽」を設置している場合は、台所、風呂、洗濯排水などが処理されずに河川等に放流されています。「単独処理浄化槽」が設置されている住宅から河川等に流れる排水の汚れは「合併処理浄化槽」が設置されている住宅の約8倍になるといわれています。

平成12年の浄化槽法の改正により「単独処理浄化槽」の新設は原則として禁止され「単独処理浄化槽」の使用者は「合併処理浄化槽」への転換に努めなければならないとされました。

県内の多くの市町村で、転換にかかる費用に対して補助を行っています。補助制度の内容は市町村によって異なりますので、詳細はお住まいの市町村の浄化槽担当課へお問い合わせください。



## 環境豆知識

## バイオマスってなあに？

広報委員 澤山 祥子

バイオマスとは、生物資源の量を表す概念で、一般的には再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものをバイオマスと呼びます。バイオマスは、木くずや紙くず、生ごみ、家畜の排せつ物、下水汚泥など私たちの身近にたくさんあります。石油等の化石資源の燃焼は大気中の二酸化炭素の量を増加させますが、バイオマスの燃焼により放出される二酸化炭素は、生物の成長過程で光合成により大気中から吸収したものであるため、新たに二酸化炭素を増加させないという特徴があり、地球温暖化防止や廃棄物の有効活用といった点から利用が促進されています。

真庭市は、市の面積の約8割が山林という豊かな森林資源を活かした木質バイオマスを中心としたバイオマスタウンへの取り組みを進めています。バイオマス発電施設などの関連施設の見学ができるバイオマスツアーもありますので、興味のある方はツアーに参加されてはいかがでしょうか。



## 瀬戸内海の環境保全に関する団体の合同研修会

当協会が正会員として入会している(公社)瀬戸内海環境保全協会は、例年、瀬戸内海沿岸の府県市のリーダーが一堂に会する「瀬戸内海の環境保全に関する団体の合同研修会」を開催しています。

今年度は岡山県が開催地となり、当協会からも60名近くの方が参加され、開催地からの歓迎の言葉として、小山会長が挨拶を述べました。

瀬戸内海沿岸の各団体から活動内容の報告が行われ、瀬戸内海の環境保全に貢献した個人や団体に対して表彰が行われ、県内の団体からも受賞、講演がありました。



小山会長 歓迎の言葉

日 時：平成28年11月25日(金)  
 場 所：ピュアリティまきび(岡山市北区)  
 県内団体講演：「海ごみがなくなるとき～山、川、海、そして人をつないで～」  
 (NGO グリーンパートナーおかやま 理事長 藤原瑠美子 氏)  
 県内受賞者(個人)：山本 光夫  
 県内受賞者(団体)：園地ボランティアみつやまクリーンクラブ  
 日妻グリーンクラブ

## 協会活動の紹介

## 各専門委員会の活動報告

## 環境保全委員会 活動報告

## ■ 平成28年度役員研修会

- 日時 平成28年11月24日(木) 7:40~18:00
- 場所 ①津山圏域クリーンセンター(津山市領家1446)  
②真庭バイオマス発電所(真庭市目木1-1)
- 参加者 協会役員 20名

津山圏域クリーンセンターは、今年3月に完成したばかりの総合ごみ処理施設です。ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーを電気に換える等、最新鋭の設備を見学しました。見学コースでは自分が出したごみがどのように処理されるのかを目の当たりにすることができ、ごみに対する意識の変化が生まれました。

真庭バイオマス発電所は、間伐材などを主燃料とする木質バイオマス発電所では国内最大級の施設で、官民あげて発電事業を支える先進的な取り組みが評価されています。

今回も多くの役員が参加され、大変有意義な時間を過ごすことができたと思います。



津山圏域クリーンセンター



真庭バイオマス発電所

## 環境保全委員

委員長 岡本 正夫 副委員長 二宮 万太郎  
委員 更谷 暢久、出口 祥三、石井 悦子、手塚 幸恵、杉 秀樹

## リサイクル推進委員会 活動報告

## ■ 平成28年度リサイクル推進事業

- 日時 平成28年9月~平成29年1月
- 場所 県内15カ所(岡山市(3カ所)、倉敷市(3カ所)、真庭市(2カ所)、玉野市、井原市、新見市、美作市、浅口市、早島町、鏡野町)
- 参加者 総勢約100名

岡山県では、毎月10日を「ノーレジ袋デー」と定めて、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」の取り組みを行っています。リサイクル推進委員会では、各地域のスーパーやイベント会場でマイバッグの配布を行いました。この取り組みで一人でも多くの方が、レジ袋を断ることを通して、環境にやさしいライフスタイルへ見直すきっかけになればと思います。



## リサイクル推進委員

委員長 小椋 邦子 副委員長 今中 慶一  
委員 森安 創、久山 雅生、守長 君子、野田 健一、平川 二美子

## 民間指導者研修会

当協会では毎年、県内3カ所で「民間指導者研修会」を開催しています。

環境保全や美化活動等に関する講演や各地域での活動事例の発表等を行い、環境衛生に関する技術を高め、専門知識を広めるとともに、参加者同士の情報交換の場となっています。今年も各地区の環境衛生団体の役員等が多数参加されました。

研修会に先立ち、環境衛生改善活動に多大な功績のあった団体、個人に対する岡山県各県民局長表彰の贈呈を行いました。



### ■ 研修会の主な内容

- ◎ 備前ブロック (開催地：玉野市)  
演：地球温暖化 ～今、やるべきこと～  
講師：おかやまエコロジー東備 副代表 藤原 幸蔵 氏
- ◎ 備中ブロック (開催地：高梁市)  
演：地球温暖化と家庭の冬の省エネ  
講師：岡山県地球温暖化防止活動推進員 土井伸一郎 氏
- ◎ 美作ブロック (開催地：津山市)  
演：パリ協定と地域での省エネ  
講師：NPO法人環境カウンセラー全国連合会 副理事長 藤本 晴男 氏  
事例発表：津山市低炭素都市推進室の取り組み  
発表者：津山市環境福祉部低炭素都市推進室 室長補佐 小林 貴之 氏

## 環境大臣表彰者のご報告

平成28年10月27日(木)、28日(金)に川崎市産業会館及びソリッドスクエアで開催された、第60回生活と環境全国大会の中で、環境大臣表彰(生活環境改善地区及び生活環境改善功労者)として県内の団体及び個人が表彰されましたのでご報告します。

この表彰は、ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等の地域の環境美化その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果を上げている地区または、個人に対して授与されるものです。

### ■ 生活環境改善模範地区(団体)

- 半田山ハイツ町内会(岡山市)

### ■ 生活環境改善功労者(個人)

- 織田 康雄(玉野市環境衛生協議会 副会長)
- 森原 誠一(岡山県環境衛生協会 前監事)
- 宇野 弘之(倉敷市環境衛生協議会 監事)
- 三宅 敏明(倉敷市環境衛生協議会 常任理事)
- 石畑 福功(上道地区環境衛生協議会 副会長)

### 賛助会員の皆様からの記事を募集します

日頃から取り組まれている環境保全、環境美化に関する活動について、賛助会員の皆様からの記事の投稿をお待ちしています。

字数：約400字  
(写真、図等をあわせて提供ください。)

例：事業所付近の清掃活動、環境に配慮した事業・製品、一般の見学者の受け入れ等。

### 新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。

地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。

**1口1万2千円で、1口から入会できます。**

### 機関誌に関するお問い合わせ

協会誌「環境のひろば」に関するお問い合わせ、賛助会員の皆様からの投稿記事などの送付は、次の住所・電話番号をお願いします。

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県環境衛生協会事務局  
TEL:086-226-7306 <http://www.pref.okayama.jp/page/351042.html>

提言箱

イエローカード作戦

倉敷市環境衛生協議会

倉敷市環境衛生協議会は「美を感じるまち…健康で住みよい街づくり」をモットーに、すべての地区協議会が一丸となって環境改善活動に取り組んでいます。

どの地区でも共通した課題でありながらも、名案が見つからなかったのが、飼い犬のふん害です。

倉敷市飼い犬ふん害防止条例は、すでに平成24年に施行されていますが、十分には反映されていませんでした。

そこで、平成26年度に市の施策の一つとして「イエローカード作戦」がスタートしました。本協議会も市の施策に合わせ、各地区協議会の多くの支部で試行してみることにしました。これは、放置された犬のふんの傍に「イエローカード」を置き、放置に警告をする仕組みです。根気のいる取り組みではあ

りますが、犬のふん放置がなくなることを目指して頑張り、ある程度の成果を見ました。また、本協議会の環境美化部会においても、先進的な取り組みにより成果を上げている自治体の視察をしました。これらの成果や取り組みの方法を改善しながら、平成27年度においては、各地区協議会の支部で町内会などが主体となって取り組むことになりました。

現在も市内の多くの町内会や団体・グループで飼い犬のふん放置のない街づくりを目指して「イエローカード作戦」に取り組んでいます。これからの飼い主のマナーが向上し、放置がなくなることを目指して続けたいです。



編集後記

寒暖差の激しかった冬が去り、紅白梅の匂う季節を迎えます。

県内各地域の、主たる環境改善活動は、清掃活動(クリーン作戦)、不法投棄防止、ごみ減量と資源化やマイバック運動・省エネ等多岐に亘り、日々の実践で“まち”の環境面からの美観も随分よくなったと感じています。

これらは日頃から同じ目標に向かって活動を継続している成果でもありましょう。

その事は先人方の根気と努力あってのことでもあ

り改めて敬意を表したい。

これからは今以上に美観維持のため、団体活動のほか、個人的な実践活動を行う事が不可欠と思う。ポイ捨てをしないことは勿論のこと、路上のタバコの吸い殻、菓子類の包装紙やビニール袋等のポイ捨てごみを拾う勇気も必要です。多くの方は既に実践しています。その仲間が一人でも増えることに期待をします。

実践活動は健康であってこそ実行できるものです。西年の今年も元気よく羽ばたきましょう。

広報委員 五島 榮二



広報委員

委員長 室田 勉 副委員長 山本 光教  
委員 福井 孝子、横田 徹、五島 榮二、高木 早苗、澤山 祥子

地域環境の保全・創造に  
貢献する地域で  
最も必要とされる組織へ

OKAYAMA  
公益財団法人  
**岡山県環境保全事業団**

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1  
TEL (086) 298-2122 (代)  
FAX (086) 298-2496

厚生労働大臣登録水質検査機関  
厚生労働大臣登録食品検査機関  
厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関  
岡山県知事指定浄化槽検査機関

公益財団法人  
**岡山県健康づくり財団**

〒700-0952 岡山市北区平田 408-1  
TEL (086) 246-6257 (代)  
FAX (086) 246-6258  
北部オフィス 〒707-0004 美作市入田 291-2  
TEL (0868) 75-3151  
FAX (0868) 75-3153

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人  
**岡山県浄化槽団体協議会**

会 長 八 田 富 夫  
副 会 長 武 村 良 夫  
常 務 理 事 木 村 俊 介

〒703-8282 岡山市中区平井 1097  
電 話 086-276-8585  
FAX 086-276-9081